

第7期アトム通貨総会

会期:2011年2月18日(金)

場所:新宿消費生活センター分室

本部で行ってきた取組(事業関連)

1. 環境省エコ・アクション・ポイントモデル事業での取り組み

今期で3年目を迎えたEAPへの取組では、昨年同様加盟店で行うエコプロジェクトやエコイベントの活発化を図り、その活動で削減されたCO2を数値化した。

また、環境省が推奨している電子マネー的ポイントの配布も実験的に試みた。

アトム通貨加盟店エコプロジェクトでのCO2の削減値は、支部の増加やプロジェクトの浸透、加盟店の頑張りなどから今までに無い効果を上げた。下図参照

	参加企業数	参加人数	発行ポイント(馬力)	CO2削減量
2009年度	118	50051	667980	10.5t
2010年度	233	85201	1427980	65.2t

(2010年11月末現在)

一方、電子マネー的ポイント配布については、14桁の数字が打ち込まれたポイントカードを配布(またはメールで配信)し、PCで登録するという手間から、登録者数も1割程度に留まり成果はあがらなかった。

環境省的には1割の登録数は他と比べて高いとのことだったが、裁番の手間やコストなどから、アトム通貨実行委員会としては魅力が感じられない。

EAP配布を目的に本部が参加したイベント

アトム通貨エコフェア2010:6月5日(世界環境デー)~7月7日(クールアースデー)の間、早稲田・高田馬場支部、川口支部、札幌支部で実施。各支部特徴あるエコイベントを実施したほか、エコプロジェクト参加店をまわる「エコアクションラリー」を実施。参加者にEAPを配布。

エコTHANKSメッセージ募集:同期間アトム通貨公式webサイト内で地球に“ありがとう”のメッセージを募集し、投稿いただいた方から対象者にEAPを配布。

エコライフ・フェア(7万人集客):代々木公園/6月5日、6日/エコキャップ回収とEAP配布。

早稲田地球感謝祭(4万人集客):9月23日/早稲田大学/エコキャップ回収とEAP配布。

浜松町グリーンサウンズフェスタ(6万人集客):11月3日/エコキャップ回収とEAP配布。

全国鍋合戦(4万人集客)/1月30日/和光市/エコに関するアンケートとEAP配布。



来年度以降

2011年度よりEAP事業は環境省の手を離れ民間のJCB社が主体となることが決定している。JCBが推進するのは電子マネー的ポイント配布であり、システムに参加するにあたり維持費用が発生すること、費用に対して効果があがらないことから来期のEAP参加は見合わせたい。しかしアトム通貨の知名度や活動の有効性から、サポート会員として残ることを依頼され、現在その方向で調整中。

ペットボトルキャップ(エコキャップ)回収の有効性

イベント時のエコキャップ回収は多くの来場者を巻き込むことが出来有効的である。

来場者も事前にキャップを集めることからエコに対する意識は高まり、またイベントへの参加性、動員にも繋がり、CO2削減効果も高い。

主なイベントでエコキャップ回収状況

- ・エコライフ・フェア:21.000 個 / 168kg の CO2 削減
- ・早稲田地球感謝祭:22.500 個 / 180kg の CO2 削減
- ・浜松町グリーンサウンズフェスタ:55.200 個 / 435kg の CO2 削減



2. 環境省チャレンジ25キャンペーンでの取り組み

“旬産旬消”～「旬の野菜を旬な時期に食べることで、ハウス栽培ではない露地栽培野菜の消費を活発化させ、CO2 排出量を削減する」をコンセプトに企画提案し、チャレンジ25キャンペーン助成事業に採択された。

実施内容としてアトム通貨加盟飲食店で“旬産旬消”メニューを開発し店頭でPR。

下記店舗が文化放送の番組に取上げられた。

- ・ 一番飯店(早稲田・高田馬場支部)
- ・ Daigo(早稲田・高田馬場支部)
- ・ 麺屋4兄弟+(新座支部)
- ・ カフェ野火止茶屋(新座支部)
- ・ どんぐり(川口支部)
- ・ ビストロピーユ(所沢アトム通貨実験店舗)



また、来年度からアトム通貨に参加する和光支部の協力により、第7回全国鍋合戦にブース出展し、来場者4万人に“旬産旬消”をPRした。

出展にあたってはイタリアンの人気シェフ川越達也氏に監修いただき「旬産ホワイトシチュー鍋」を開発。人気投票では約600票を集め、出場43チーム中、初出場ながら11位の成績を収めた。



今後の展開

アトム通貨加盟店に飲食店が多いこと、飲食店では通貨配布コストを負担しやすいこと、店のオリジナリティーが出ること、昨今のグルメブーム...以上のことからアトム通貨内で食のプロジェクトを推進してきたが、“旬産旬消”については店側も取り組みやすく、地産地消以上に効果的と感じた。

2011年度は“旬産旬消”を進めていきたい。

本部で行ってきた取組(広報関連)

1. アトム通貨公式 Web サイト <http://atom-community.jp/>

2010 年公式 Web サイトリニューアル

- ・各支部の専用ページの開設
- ・アトム通貨 × THANKS 設置による一般ユーザ書き込み対応



平均 PV / 日割 = 約 1000PV

Yahoo! TOP 掲載など大型報道後は 3000PV 超

メルマガ配信後は平均 100 ~ 200PV 増

土日や連休時はアクセス減(学校、企業からのアクセス多と予想)

< PV ランク >

- 1、本部
 - 2、早稲田・高田馬場
 - 3、新座
 - 4、札幌
 - 5、徳島
 - 6、川口
 - 7、松山
 - 8、仙台
- 更新回数と PV 率はほぼ比例傾向あり

2. 第 7 期アトム通貨メールマガジン

メルマガ登録者数(2011 年 2 月時点): 165 人

うち 1 割はマスコミ・官庁関係者

< 配信状況 >

[Vol.1] 2010 年 4 月 7 日配信: 流通開始特集

[Vol.2] 2010 年 4 月 27 日配信: Web サイト「アトム通貨 × THANKS」特集

[Vol.3] 2010 年 5 月 31 日配信: エコフェア特集

[Vol.4] 2010 年 6 月 30 日配信: 打ち水大作戦

[Vol.5] 2010 年 7 月 30 日配信: 各支部情報

[Vol.6] 2010 年 8 月 27 日配信: 各支部情報

[Vol.7]2010年9月30日配信: チャレンジ25採択事業連絡

[Vol.8]2010年10月29日配信: 浜祭2010情報

[Vol.9]2010年11月30日配信: 各支部情報

[Vol.10]2011年1月27日配信: 鍋合戦出店情報

[号外]

2010年7月16日配信: 新規参画の仙台支部、新座支部特集

2010年9月15日配信: 早稲田地球感謝祭2010開催情報

2011年2月10日配信: アトム通貨のエコ・アクション・ポイント交換サービス情報

総括

・メルマガ情報掲載の有効性

・サイトへの情報UPの有効性

を読み取ることができる。

流通開始前後や新支部加入時、エコフェアなどの大型催事の時期は、サイト情報閲覧が多く、ページ閲覧を機に取材の希望が入ったケースも数件みられる。

特に、マスコミは取材の前に必ずサイトの隅から隅まで目を通しており、細部に亘る質問が多い。

事前申請の徹底、早期 Web 更新、メルマガ情報提供をお願いします。

また、加盟店情報もきちんと掲載し、Web サイトを最大限利用してください。



今後、「エコフェア」のように同時開催イベントがある場合は、本部欄に項目を設置して各支部のエコフェア内容を掲載する方針です。それには早期申請と Web 更新が必須ですので、ご対応お願い致します。

3. 第7期アトム通貨メディア掲載状況

(2011年2月16日時点)

【2010年4月6日】 テレビ

NHK「ニュースウォッチ9」：アトム入学報道に併せてアトム通貨紹介

【2010年4月7日】 ラジオ

TOKYO FM：馬場西商店会会長の佐藤さん電話出演。クリーン大作戦やアトム通貨に関して。

【2010年4月8日】 新聞

東京新聞：第7期アトム通貨流通開始記事

【2010年4月10日】 テレビ

ケーブルTV・JCN埼玉：川口支部「並木クリーン作戦」紹介など

【2010年5月18日】 テレビ

テレビ朝日「スーパーモーニング」：アトム通貨特集(佐藤電機商会、こだわり商店生放送)

【2010年5月29日】 新聞

読賣新聞：埼玉県エコマネー補助制度記事でアトム通貨取り上げ

【2010年6月3日、7日、10日】 ラジオ

文化放送「玉川美沙たまなび」：アトム通貨取り上げ

【2010年6月3日】 情報誌

R25(アールニジュウゴ)：地域通貨特集でアトム通貨取り上げ

【2010年6月26日】 ラジオ

TBS ラジオ「永六輔その新世界」：アトム通貨特集(ラッキイ池田氏と日高の事前対話収録)

【2010年6月1日】 新聞

北海道新聞：北海道大学ハツキタゼミのとりくみの紹介

【2010年7月15日】 情報誌

東京都交通局「都電おさんぼ探検マップ」：早稲田～戸山エリア特集でアトム通貨紹介(2ヶ月間都電エリアで配布)

【2010年7月19日～21日】 ラジオ

文化放送「笑顔でおは天!!」：エコライフ情報内でエコライフフェアの取材 OA

【2010年7月22日】 新聞

河北新報：アトム通貨仙台支部流通開始の記事

【2010年7月23日】 テレビ

東北放送：特番仙台支部設立の軌跡(打ち合わせ風景や早稲田視察、TBC 夏まつり宣伝など)

【2010年7月27日】 テレビ

テレビ北海道「けいざいナビ北海道」：アトム通貨特集(札幌支部、本部取材、一番飯店、こだわり商店取材)

【2010年8月1日】 新聞

読賣新聞：新座支部立ち上げの記事

【2010年8月1日】 新聞

東京新聞：新座支部立ち上げの記事

【2010年8月3日】 新聞

日本経済新聞：アトム通貨取り上げ

【2010年8月19日】新聞

埼玉新聞：アトム通貨取り上げ

【2010年8月21日】新聞

朝日新聞：アトム通貨取り上げ

【2010年8月27日】テレビ

テレビ埼玉『ウィークエンド930』：新座支部の取り組み

【2010年8月28日】テレビ

テレビ北海道「けいざいナビ」：札幌支部の取り組み(早稲田馬場の取材もあり)

【2010年10月4日】ラジオ

NHKラジオ『世の中面白研究所』：新座支部の取り組み

【2010年10月8日、22日、29日】ラジオ

「旬SUN旬SHOW 大作戦」(プレ番組)：アトム通貨×文化放送共同授業番組

【2010年11月号】専門誌

静岡経済研究所冊子：地域通貨特集でアトム通貨の取材記事掲載

【2010年11月5日～2011年2月25日/毎週金曜】ラジオ

文化放送「しるパラ」内「旬SUN旬SHOW 大作戦」本放送

【2011年1月17日～21日】ラジオ

文化放送「エコフル」：アトム通貨紹介及び新座支部加盟店紹介

計 紙媒体:12回 テレビ:7回 ラジオ:33回 この他にも多数の報道・掲載あり

総括

- ・支部情報はローカルニュースとして多数取上げられた。
- ・ローカルの発信メディアとしてラジオは最適と思われる。
- ・商店街ではラジオリスナーも多く、ラジオ局も商店街との接点を求めている。
- ・今期は文化放送での取上げが多かったが、本部としては特定局に絞らず、どこから取材希望がきても対応していく方針。

・本部でもリリースなどの協力はするが、各支部での新聞社、テレビ局などの地域担当者との懇意になるよう努力してほしい。

その他

アトム通貨が中学生公民教科書に掲載されます



早稲田・高田馬場支部事業報告書

支部概要について

・中心団体と協力団体

中心団体：アトム通貨実行委員会早稲田・高田馬場支部

協力団体：

早稲田大学周辺商店連合会

(大隈通り商店会、古書組合、早大通り商栄会、早大西門体育館通り商店会、南門通り商店会、早稲田駅前商店会、早稲田グランド商店会、早稲田商店会)

高田馬場西商店街振興組合

高田馬場銀座商店街振興組合

早稲田大学

後援：新宿区

・2010年度の加盟店数と特徴

飲食・物販・サービス業など約170店舗が加盟しています。第1期(2004年)から多くの加盟店に継続してプロジェクトを実施していただき、マイバックプロジェクトのように地域に定着したプロジェクトが生まれています。また、第7期よりスタートした旬産旬消メニュープロジェクトなど、新たなプロジェクトにも積極的に取り組んでいます。

・2010年度発行馬力数(見込み)

10馬力×31,568枚

50馬力×2,405枚

100馬力×2,960枚

計731,930馬力(2011年2月11日現在)

導入目的と達成度

・導入目的

アトム通貨は鉄腕アトム誕生の年、2003年に構想されました。早稲田・高田馬場の商店街の「環境」を切り口にしたまちづくり、早稲田大学の地域における社会貢献活動の推進、手塚プロダクションの地域活性化を目指したCSR活動、という三者のマッチングによってアトム通貨実行委員会が設立されました。アトム通貨は、地域活性化のための地域通貨というだけでなく、環境活動を推進するエコマネー、社会貢献活動を推進するサンクスマネーとして、2004年に流通を開始しました。

早稲田・高田馬場支部事業報告書

・導入によって得られた効果

地域の人々にとって、社会貢献活動に踏み出すハードルを下げることができましたと感じています。これまで、環境問題など大きな社会問題に関わる活動に、踏み出しにくいという抵抗を感じていた人や子どもたちにも、見た目にも可愛いアトム通貨をきっかけにすることで、気軽に社会貢献活動に参加してもらうことができ、地域コミュニティ自体も活性化されるという循環をつくりだすことができました。

・達成できなかった点、課題

安定的な財源の確保が第一の課題です。現在は広告収入や企業協賛でイベントや事務局の運営をまかっていますが、恒常的に財源が不足しているため、運営資金を集める方法を模索しています。また、学生主体で運営しているので、スタッフが常駐することができません。在籍年数に限りがあるために、定期的に引き継ぎを行わなければならない、文書だけでは残せない人間関係などのスムーズな引き継ぎも課題です。

来期への展望

加盟店と協力して、従来のプロジェクトを推進したり、新たなプロジェクトを提案・実施したりすることで、実行委員会と加盟店の相互の関係性を強化し、より一層の地域コミュニティの活性化に努めます。また、企業や大学、NPO、学生団体との更なる連携を図り、既存のイベントに新たな要素を加えるなど、イベント・企画に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

本部への要望

今後も、本部や他支部と連携して刺激を受けることで、活動を発展させていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

その他

・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例

早稲田・高田馬場支部の加盟店で現在行われているプロジェクトは、

マイ箸推進、マイバッグ推進、旬産旬消メニュー、ハンガーリユース、古本購入

エコ商品購入、ボランティア活動参加、特産品購入

などです。

早稲田・高田馬場支部事業報告書

2010年6月5日(世界環境デー)～7月7日(クールアースデー)の環境月間では、「アトム通貨エコフェア2010」を開催しました。期間中、エコプロジェクトを実施している加盟店で「エコアクション・ラリー」を開催し、最終日には、早稲田大学で「早稲田打ち水大作戦2010」と「"みず"から学ぶ環境シンポジウム」を実施しました。シンポジウムでは、環境活動の推進に積極的に取り組む企業による講演のほか、日頃から環境について考え、活動している学生が地球環境の未来について討論しました。また、イベントとして地域での清掃活動やサマーキャンドルナイトも実施しました。

(写真:左上から 早稲田打ち水大作戦2010、「みず」から学ぶ環境シンポジウム、神田川周辺清掃活動)



・他の支部への質問

イベントやプロジェクトの広報での工夫などをお聞きしたいです。

支部概要について

- ・中心団体 環境経済委員会OB
- ・協力団体 西川口並木商店会、西川口東口連合商店会

・2010年度の加盟店数と特徴 60店舗 特徴としては昨年度のモデル地域として選定した西川口並木商店会を中心とし加盟店が拡大した為、通貨の流通経路に溝がなく理想的なエリアの拡大と思える。

参加店舗の業種別構成としては物品販売業が主軸をなしている。また、加盟店から参加費を徴収し補助金や寄付以外の独自財源の確保にも努めています。

- ・2010年度発行馬力数(見込み)

発行馬力数

201,250馬力(見込み)

10馬力 × 9555枚 = 95,550馬力

50馬力 × 698枚 = 34,900馬力

100馬力 × 708枚 = 70,800馬力

導入目的と達成度

- ・導入目的

- a)環境と経済の両立できる仕組みづくりの開発とその仕組みの実践。
- b)地域の社会貢献度の向上

- ・導入によって得られた効果

- a) パブリシティ効果による知名度の上昇。
- b) 事業やイベントなどの動員力の上昇。
- c) 配布した通貨による二次的経済性の創出。

- ・達成できなかった点、課題

- a) 流通期間内での加盟店舗数の拡大。
- b) 他団体における通貨の利用。
- c) 課題 個々の加盟店における更なる経済性の創出。
- d) 課題 市民からみた「つかえるお店」の利便性の向上と魅力ある加盟店の開発。
- e) 課題 定期的なイベントの開催とアトム通貨のPR活動。

来期への展望

上記の項目に挙げた「達成できなかった点、課題」を見直す事はもちろんのこと、ただ単に通貨の発行額の増大だけに目を奪われる事なく、プロジェクトやイベントに携わった方々や参加していただいた市民の方々の意識変革につながる様な活動を行っていきたいと考えます。また、定期的な活動を行う為にも安定した財源を確保する手段と人員確保が課題とおもいます。

本部への要望

- ・本部の予算においてオフィシャルポスター、オフィシャルリーフレットを支給して欲しい。

その他

- ・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例

エコフェア2010の際に川口支部が行った連動性のあるエコイベント。

単発的な企画を行うのではなく行政などが企画するイベントに地域の商店会や学校等を窓口とし参加するイベントを行ってみてはいかがでしょうか。

- ・他の支部への質問

- a) 財源の確保をどの様に今後行って行こうと考えていますか。
- b) 加盟店などの経済的メリットにおいてどのように考えていますか。またその対応をについてお教えください。

支部概要について

- ・中心団体と協力団体：発寒北商店街振興組合・
- ・2010年度の加盟店数と特徴
 - 25店舗 商店街のイベントで発行また地域の小学校・中学校のイベントを共催・スポンサー
 - また、連携先 野幌商店街で発行(イベントでの)
- ・2010年度発行馬力数(見込み)
 - 200,000馬力

導入目的と達成度

- ・導入目的
 - サンクスマネーとして地域活動に寄与していただくことに
 - 商店街が「コミュニティの担い手として」ありがとうをアトム通貨によって評価子供達に
 - 地域づくりをしてもらえるようなハツキタを作る
- ・導入によって得られた効果
 - 昨年度北海道「行ってみたい商店街大賞」を受賞
 - 地域の発寒小学校・発寒東小学校・西陵中学校といろいろなイベントをしている
 - 行政・商工会議所の視察 4件・大学の研究室の訪問 2件
 - 北海学園大菅原ゼミと「ハツキタトレジャーマップ(原案)」の作成
- ・達成できなかった点、課題
 - 発行馬力があまり伸びなかった。
 - 他地域との連携ができなかった

来期への展望

アトム通貨の他地域での発行増と参加店の拡大
北海道での企業スポンサーの開拓

本部への要望

特になし いろいろと援助いただき感謝しています

その他

- ・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例
 - キャップが73000個あまり集まりました。
- ・他の支部への質問
 - スポンサーの見つけ方・

支部概要について

・中心団体と協力団体

中心団体(=アトム通貨実行委員会新座支部):新座市商工会

協力団体:新座市 新座市商店会連合会

・2010年度の加盟店数と特徴

加盟店数:131店舗(飲食:22、物販:64、サービス:15、その他:30)

上記のうち、アトム通貨を「もらえる店」は21店舗

特 徴:「BtoB」を中心とする事業所も多数加盟

・2010年度発行馬力数(見込み)

金 種	発 行 枚 数	金 額
10馬力	10,630枚	106,300円
50馬力	3,757枚	187,850円
100馬力	6,740枚	674,000円
(合計)	21,127枚	968,150円

導入目的と達成度

・導入目的

・市内商店会及び商工会員の活性化

・アトム通貨の理念の実現

・導入によって得られた効果

・地域貢献への取り組み意識の向上(イベント参加者・加盟店舗)

・各種イベント参加者数の増加

・マスコミ等の取材により本市及び新座市商工会の認知度向上

・達成できなかった点、課題

・流通地域を市内全域としたため、加盟店舗が相対的に少なかった。

新座支部事業報告書

来期への展望

・次年度は、加盟店舗数と「もらえる店」の増加を図りたい

本部への要望

その他

・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例
(本年度実施した主なイベントなど)

イベント名	配布内容	日時
アトム通貨発行オープニングイベント 打ち水大作戦	打ち水イベントに参加した方に100 馬力進呈	平成22年 8月1日(日)
“すぐそ新座”ひまわりまつり	ひまわり畑でのスタンプラリー参加者に 50馬力進呈	平成22年 8月21日(土)
野火止用水クリーンキャンペーン	野火止用水の清掃活動参加者に1 00馬力進呈	平成22年 8月21日(土)
第34回新座市民まつり 産業フェスティバル	「ゴミ拾いタイム」参加者に 100馬力進呈	平成22年 10月9(土)・10(日)
第6回アトムが案内!“すぐそ新座” 発見ウォーキング	野火止緑道クリーンアップ 参加者に全馬力進呈	平成22年 11月14日(日)
その他配布事業 こどもエコクラブ/カブトムシの里親フェア2010/秋の交通安全運動出発式/市民体育祭 小学生議会・中学生議会/ふるさと新座フェスタ40/睡足軒の森文化の祭典/妙音沢緑地クリーンアップ作戦 /心の声かけ運動/青年部清掃活動/成人式		

・気付いた点、感想など

予算も含め、新座市の協力無しには実施できなかった

事業所に主旨を理解してもらい(メリットを感じてもらい)、加盟店として参加していただく迄に時間がかかる

換金率がどの程度になるか予想がつかないのが不安

・他の支部への質問

徳島支部事業報告書

支部概要について

・中心団体と協力団体

両国本町商店街振興組合を中心的な加盟店として、アトム通貨徳島支部が中心となって運営。イベントに関しては、支部メンバーである矢部(徳島大学教員)の1年生ゼミや、顧問を務める「徳島活性化委員会」と協力しながら開催している。

・2010年度の加盟店数と特徴

加盟料1万円を支払い加盟している11店舗。特に中心市街地の活性化やエコ活動に関心が高く、独自でイベントを主催するなど地域活動に熱心。

・2010年度発行馬力数(見込み)

10馬力×1800枚

導入目的と達成度

・導入目的:衰退しつつある中心市街地の活性化。郊外型大型店との差別化をはかるため、アトム通貨をツールとしてエコな商店街というイメージ作りをする

・導入によって得られた効果:エコを意識したイベントの企画・運営に関わる地域スタッフの意識向上。

既存のイベントへの子どもの取り込み = エコ啓発。地元テレビで1回アトム通貨が特集され、イベントの度に地元新聞が取材してくれるようになった。

・達成できなかった点、課題:加盟店舗数の拡大。また、予算組が立たなかったために、流通開始が9月と遅くなってしまった。

来期への展望

来期は、地元テレビ局の四国放送主催の「映画「ブッダ」公開記念 手塚治虫展」が2011年7月23日～8月31日に開催されるので、これを機に、加盟店を50店舗に拡大したい。

本部への要望

レスポンスも早く、いつも助かっています。今後とも、同様の支援をお願いします。可能であれば、全国のアトム通貨加盟支部で同時イベントを行うと、全国版のニュースになるのではないかと思います。

その他

特にありません。

支部概要について

NPO 法人学割 net / 教育関連・国際交流関連

NPO 法人未来環境福祉ネットワーク / 環境関連・福祉関連

NPO 法人まなびのたねネットワーク / 教育関連

・2010 年度の加盟店数と特徴

申請済加盟店数: 1 店 未申請加盟店数: 12 店

・2010 年度発行馬力数(見込み)

約 43 万馬力

導入目的と達成度

・導入目的

商店街同様に NPO 法人や社会福祉法人も社会貢献活動を展開する上で様々な課題(告知・集客等々)を抱えています。県内全域に展開する NPO 法人や社会福祉法人と商店街が双方の足りない部分を補うかたちで、アトム通貨を通じて協力することで、社会貢献活動はもちろん、商店街及び NPO 法人や社会福祉法人の活性化に繋がると考えました。

・導入によって得られた効果

今期は、地元放送局とタイアップしての環境イベント・仙台市とタイアップしての国際交流イベントでの導入でした。環境イベントにおいては、市民の“環境に対する意識の向上”及び“毎年開催する環境イベントになる”という効果がありました。国際交流イベントにおいては、“県内に外国人が多いという認識”・“自治体や県内の国際交流団体が様々取り組みをしているという認識” “国際交流や国際見聞を広げる”という効果が得れました。

・達成できなかった点、課題

加盟店の獲得が人員不足によりできませんでした。ただし、各商店街で導入してもらうことの承諾は、ほぼとりつけることができましたので、次年度は承諾を頂いた各商店街の各店舗にまわり多くの加盟店の獲得をはかりたいと考えています。

来期への展望

各商店街の導入してもらう承諾は頂いたので、“加盟店獲得”に力を入れて行きます。また、仙台は一極集中(仙台市に人口が集中・仙台駅から半径 1 キロ圏内に商業施設等が密集)のため、仙台駅から近いイベント会場(今期 2 回開催した勾当台公園 / こうとうだいこうえん)において、毎年定期的に開催する“環境・国際交流”等のイベントを根付けさせ、地域の社会貢献活動を継続して促進していきたいと思えます。

仙台支部事業報告書

本部への要望

- ・期間限定イベントでの Web や TVCM でのキャラクター使用の一部許可について
期間限定イベントにおいては、一部キャラクター使用の許可を頂けると幸いです。

その他

- ・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例
まだ支部を設立して日が浅いので、特にはございません。参考になるかはわかりませんが、仙台支部で開催したイベントの新聞記事を別途添付致します。
- ・他の支部への質問
 - * 現段階では特にございません。

2011年度事業について

支部の継続および新規加盟について

現在、継続6支部、新規1支部が内定しています。

内定者におきましても、2011年度版申請書を提出していただき、契約させていただきます。
それ以外の新規については申請後、審査する時間をいただいております。ご了承ください。

流通期間

2011年4月7日より2012年2月29日とします。

オリジナル通貨について

オリジナルデザイン(透かしおよび発行支部名明記)を希望される場合、下記スケジュールになります。

・透かしデザイン決定:3月4日まで

・印刷枚数決定:3月11日まで

・刷り上がり、各支部へ納品:3月末

通貨の印刷枚数と費用

現在の30万円の印刷費内訳は、10面付け6000枚印刷で仕上りは6万枚になります。

比率が8:1:1の場合、10馬力4万8千枚、50馬力6千枚、100馬力6千枚で合計138万馬力。

印刷枚数を減らすことで費用は削減できます。ただし通貨の刷り上がり馬力額も減少します。

4000枚の場合:印刷費用22万円前後、8:1:1の場合に通貨の合計92万馬力。

5000枚の場合:印刷費用26万円前後、8:1:1の場合に通貨の合計115万馬力。

各支部で配布予定枚数を割り出し、印刷枚数(4000枚以上)を3月11日までにお知らせください。

リーフレット、ポスターについて

雛形デザイン決定:3月22日ごろ

その後、各支部ごと印刷

*各支部独自の情報記載が必要ない場合は本部でまとめて印刷も可能。

希望者多数の場合は割安になります。

サイトの更新

アトム通貨公式webサイトは継続使用となります。大きな変更はありません。

継続支部についてはそのままご使用ください。

新規加盟支部はサイトの準備も含めて、個別でご指導いたします。

広報マニュアルおよび広報素材について

2011年度広報素材は契約終了後、個別にお渡しします。